

単施設研究用
【情報公開文書】

秋田県内における骨肉腫の発生率と生存率の地域による違いに関する研究

1. 研究の対象

本研究の対象は、2000 年 1 月から 2024 年 12 月までの間に、秋田大学医学部付属病院において、過去に病理組織学的に骨肉腫と診断され治療を受けられた、もしくは現在も治療中の骨肉腫と診断された方を対象とします。

2. 研究目的・方法

骨肉腫は最も代表的な骨原発の悪性腫瘍です。一般的に 10 代で最も好発し、男性でやや好発する腫瘍であり、骨の成長・発達との関連がよく報告されています。しかしながら、その発生率は 1 年間あたり 80 から 100 万人に 1 人と非常に低く、発生に関わる危険因子とその原因に関しては未だほとんど分かっていません。他のがんとは異なり、特定の原因遺伝子も同定されておらず、分子標的薬のような新しい治療薬もまだみつかっていません。このように、遺伝的もしくは環境的な要因においてでき、まだ明らかにはなっていない悪性腫瘍です。

遺伝的もしくは環境的要因を調査するための 1 つの方法として、地域における骨肉腫の発生率や性質を調べる方法があります。過去にも同様の報告が複数ありますが、海外の報告ばかりであり、地域や人種などが全て異なっています。地域の違いを正確に評価するためには、できるだけ人種などの影響を減らして評価するべきです。しかしながら、そのようなバイアスを減らすような処理を行っている報告は過去にほとんどなく、また、統計学的に十分に評価した報告はほとんどありません。

日本は基本的に単一民族国家であり、人種の差は欧米諸国に比べて圧倒的に少ないです。さらに秋田県は、日本の中でも首都である東京からとても遠く、高齢化率も日本で最も高い県です。そのため、在住している人の流動が少ない地方都市であると考えられます。地域性の違いを評価するには、このような人の移動が少ない地域で評価する方が、その土地や地域の影響をより正確に評価できることが予想されます。また、その結果から、骨肉腫の発生に影響を及ぼす要因が環境や遺伝的に何かあるのかどうかを考察することにもつながるため、非常に重要な調査・研究と考えられます。

本研究により、秋田県内の各地域での骨肉腫発生率と性質の違いを明らかにすることで、居住する場所によって骨肉腫に影響があるのかを明らかにし、遺伝性もしくは環境要因の影響があるのかを明らかにすることです。このことが明らかになると、今後より広い範囲で調査を続けることで、共通する危険因子を推定できるようになる可能性があります。

2000 年 1 月から 2024 年 12 月までに秋田大学医学部付属病院において、過去に病理組織学的に骨肉腫と診断されて治療を受けられた、もしくは現在も治療中の骨肉腫の方を対象とします。

収集された診療情報に関しては、性別や年齢、居住地、原発腫瘍の発生部位とその大きさ、組

組織学的種類、手術治療の有無、手術方法、化学療法、放射線治療の有無、術前化学療法の組織学的効果判定、遠隔転移発生の有無とその発生部位、局所再発の有無、生命予後、経過観察期間などの項目をまとめ、秋田県内の各地域における発生率や予後の違い、予後に影響を与える因子などを解析します。

研究実施予定期間は研究実施許可後から 2026 年 12 月 31 日までとします。

試料・情報の利用及び提供開始予定日：2025 年 6 月 30 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

性別や年齢、居住地、原発腫瘍の発生部位とその大きさ、組織学的種類、手術治療の有無、手術方法、化学療法、放射線治療の有無、術前化学療法の組織学的効果判定、遠隔転移発生の有無とその発生部位、局所再発の有無、生命予後、経過観察期間などについて調査を実施します。これらは全て日常診療で得られる項目です。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：秋田県秋田市広面字蓮沼 44-2 秋田大学大学院医学系研究科 整形外科学講座

電話番号：018-834-1111

担当者の所属・氏名：秋田大学大学院医学系研究科 整形外科講座 土江博幸（研究責任者）

試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称：

国立大学法人秋田大学大学院医学系研究科

研究科長 羽渕 友則